

かつて長崎を訪れた外国人たちが  
余暇を過ごした温泉地

# 雲仙

長崎県雲仙市

標高  
約700m  
8月の平均気温  
約23.8度

明治時代に外国人向けの避暑地として開かれた雲仙。現在も多くの外国人客が訪れる人気の温泉地だ。その魅力を探るべく、湯煙に包まれた温泉街を訪ねた。

取材・文：歌岡泰宏 撮影：草野清一郎



温泉街の中心部にある雲仙地獄。勢いよく噴気が上がる様子は圧巻

## 外国人たちが憧れた 温泉リゾート地

「お帰りなさい」

最初に訪ねた雲仙観光ホテルで、総支配人の船橋聡子さんにそう迎えられた。その言葉に不思議な顔をしていると、「外国人客誘致のために開業したこのホテルでは、遠い異国から来てくださったお客さまに日本でのわが家に帰ってきた気持ちになっていただくために、昔からお帰りなさいってお迎えするんですよ」と教えてくれた。

昭和9年に日本初の国立公園に指定された雲仙。その翌年に雲仙観光ホテルは開業した。周囲の自然に溶け込む山小屋風の外観は、ヨーロッパの避暑地にある建物のように。

雲仙に外国人客が訪れるようになってしたのは明治10年（1877）頃。大正時代に入り、長崎と中国上海を結ぶ上海航路が運航されるとその数は増加した。大正2年（1913）には、当時国内では珍しかったゴルフ場とテニスコートが開設。最盛期は年間3万人もの外国人客が訪れ、昼は山の散策やゴルフ、夜はダイナーやダンスパーティーなどを楽しんだという。

「その当時、雲仙には外国人が川をせき止めて作った天然のプールもあったんですよ。プールになじみがなかった



### 伝統と格式ある クラシックホテル

創業は昭和10年。平成16年から5年にわたる改修工事が行われ、創業当時にあった図書室や撞球室を復元。クラシカルな雰囲気はそのままに、現代建築の快適さも備えたホテルとして高い人気を誇る。

☎0957-73-3263 / 1泊2食3万7800円～ / 日帰り入浴14:00～17:00受付、無休。昼食・喫茶利用者限定で別途1080円 / 39室 / 酸性・含鉄・含硫黄・アルミニウム・硫酸塩泉 / 長崎県雲仙市小浜町雲仙320 / JR長崎本線諫早駅からバス1時間20分の西入口下車、徒歩1分



メインダイニングでは、ダンスパーティーが開かれていたとか



1 エントランスを抜けると、大きな中央階段が印象的なロビーへ。2 客室には19世紀のイギリスの芸術家ウィリアム・モリスの壁紙を採用。3 ドーム型天井とアールデコ調のタイルを配した洋風温泉浴室。4 モダンな社交場の雰囲気を感じる撞球室（ビリヤード場）

### 湯煙もくもく 迫力満点の噴気帯 雲仙地獄

荒涼とした岩肌から、噴気と100度近い温泉が湧き上がる地獄が約30カ所点在。湯煙が激しく上がる様子はまさに地獄のよう。休憩所の雲仙地獄茶屋では、地熱が体感できる足蒸しや温泉たまご2個200円～の販売も。

☎0957-73-3434（雲仙温泉観光協会） / 見学自由 / 長崎県雲仙市小浜町雲仙 / JR長崎本線諫早駅からバス1時間20分の雲仙お山の情報館前下車、徒歩3分



地獄で蒸した温泉たまご。繁忙期は一日200個近くも売れるそう



映画『君の名は』のロケで、女優の岸恵子が手を添えた真知子岩



温泉街から徒歩20分の白雲の池。周囲は夏も涼しいため、古くから避暑客の憩いの場となっている